

# 西脇市 子ども・子育て支援事業計画 骨子案

# 目次

## 第1章 計画の策定に当たって

- 1 計画策定の背景と趣旨
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間

## 第2章 西脇市の子ども・子育てを取り巻く現状

- 1 統計による西脇市の状況
- 2 ニーズ調査の結果概要
- 3 保護者インタビュー調査結果の主な内容
- 4 西脇市次世代育成支援対策推進行動計画(後期)の取組状況と評価
- 5 現状と課題を踏まえた今後の方向性

## 第3章 計画の基本理念と施策の体系

- 1 計画の基本理念
- 2 計画の基本目標
- 3 施策の体系

## 第4章 施策の展開

- 1 就学前教育・保育の充実
- 2 地域子ども・子育て支援事業の充実
- 3 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり
- 4 子どもと親の健康を支える環境づくり
- 5 子どもが安心して育つ環境づくり
- 6 特別な援助が必要な子ども・家庭への支援

## 第5章 成果指標の設定

## 第6章 推進体制

## 参考資料

---

# 第1章 計画の策定に当たって

---

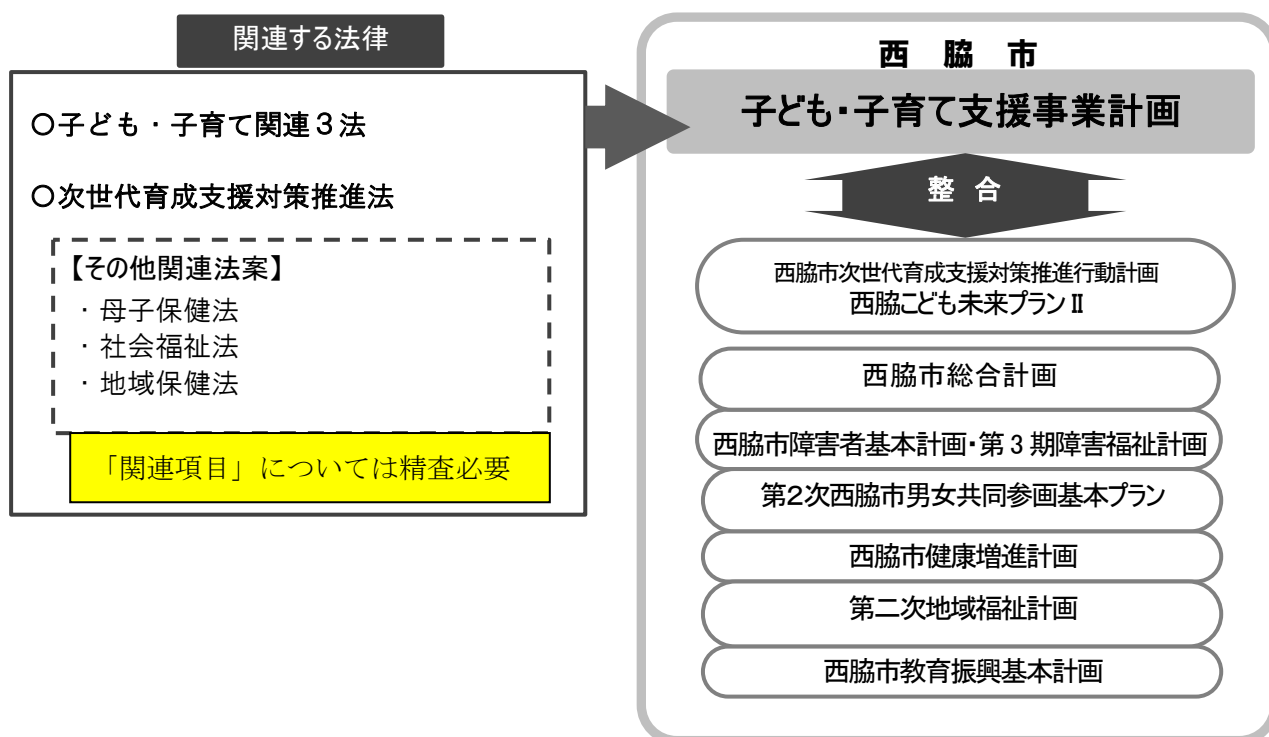
## 1 計画策定の背景と趣旨

- わが国の子育て支援は、これまで少子化対策を主として、平成 15 年に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、総合的な取り組みを進めてきました。
- しかし、出生率の低下に伴う少子化の進行、家族形態の多様化や地域のつながりの希薄化によって、多くの子育て家庭が子育てへの不安感や孤立感を抱く状況はより顕著になってきました。
- 子ども・子育てを取り巻く社会情勢の変化を受け、新たな支援制度を構築していくため、平成 22 年の「子ども・子育てビジョン」の閣議決定、子ども・子育て新システム検討会議の設置を皮切りに、幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築について検討が始まりました。
- 平成 24 年には、認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の新たな給付や、認定こども園法の改善などが盛り込まれた「子ども・子育て関連3法」が制定されました。
- 新たな制度のもとでは、「すべての子どもの最善の利益」が実現される社会をめざすとの考えを基本に、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、地域の子ども・子育て支援等を総合的に推進していくことをめざしています。
- 西脇市においても、平成 17 年に、「西脇こども未来プランⅡ（西脇市次世代育成支援対策推進行動計画）」を策定し、これからの社会を担っていく子どもたちが健やかに成長できるよう、地域で安心して子育てができるまちづくりを進めてきました。
- しかし、前述の社会情勢の中、西脇市の子どもを取り巻く環境も変化し続けています。子どもの人口が減少し続けるなか、子どもたちにとってふさわしい幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的・一体的に推進していくため、「西脇こども未来プランⅡ（西脇市次世代育成支援対策推進行動計画）」を踏まえながら、平成 27 年度から 31 年度の 5 か年を計画期間とした「西脇市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

## 2 計画の位置付け

- 本計画は、子ども・子育て支援法第 61 条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」であり、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指すものです。
- さらに、平成 26 年度末で計画期間が終了する「『西脇こども未来プランⅡ』（西脇市次世代育成支援対策推進行動計画）」における取組についても、新たな計画に引き継ぎ、子どもとその家庭に関わる施策を体系化し、総合的な展開を図ります。

### ■ 計画と関係法の関連



## 3 計画の期間

- 本計画は、平成 27 年度から平成 31 年度までの5年間を計画期間とします。ただし、計画期間中においても社会情勢の変化や子育て家庭のニーズに柔軟に対応するため、適宜計画の見直しを行うものとしします。最終年度の平成 31 年度には、次期計画を策定します。

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
西脇こども未来プランⅡ 西脇市次世代育成支援推進行動計画<後期>									
					西脇市子ども・子育て支援事業計画				

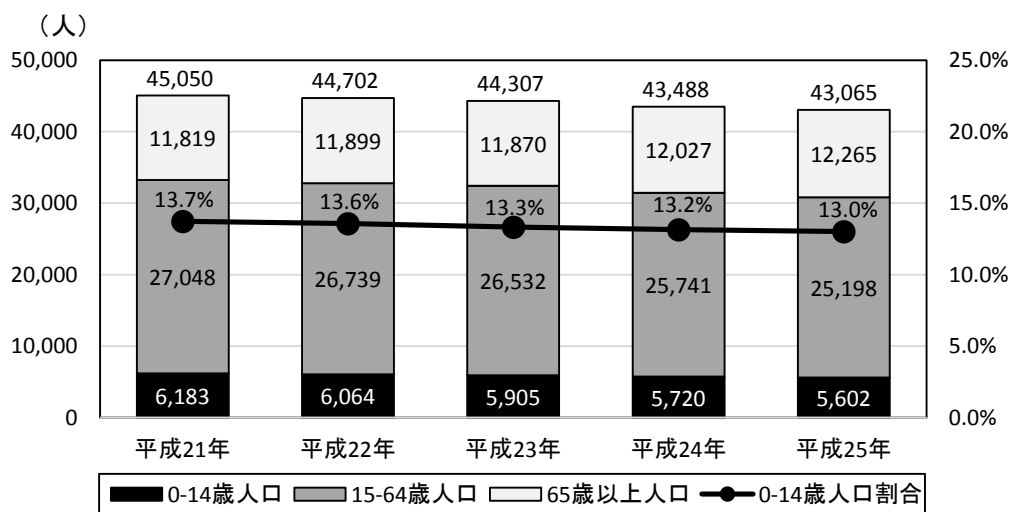
## 第2章 西脇市の子ども・子育てを取り巻く現状

### 1 統計による西脇市の状況

#### (1)人口の状況

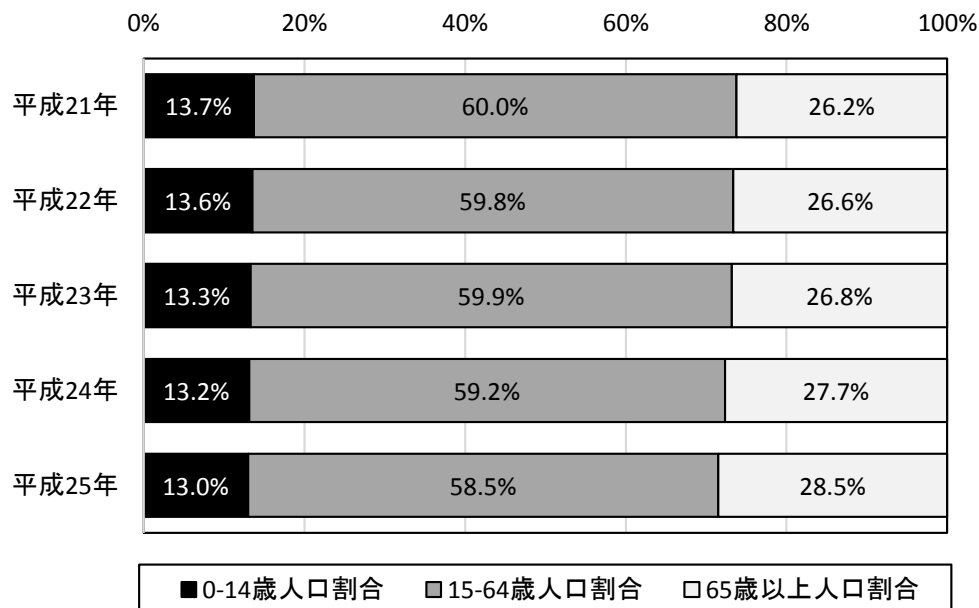
- ・総人口は、年々減少傾向にあります。0-14 歳の年少人口も、毎年約 100 人ずつ減少しており、少子化の進行がうかがえます。

#### ■ 総人口の推移



資料：住民基本台帳(各年 10 月)

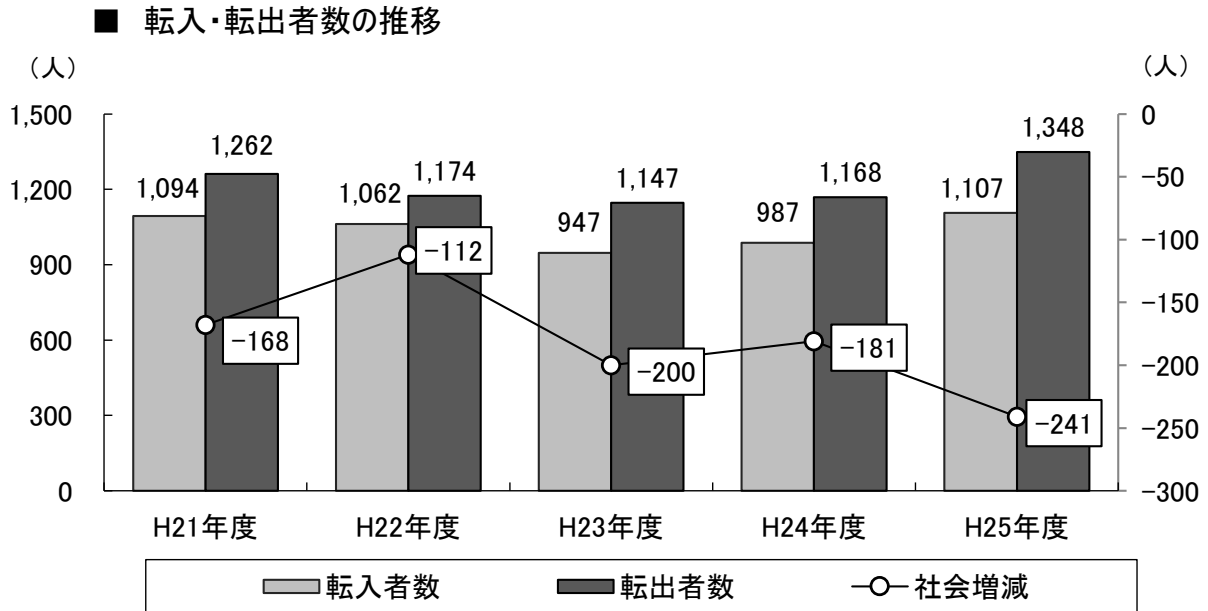
#### ■ 3区分人口割合の推移



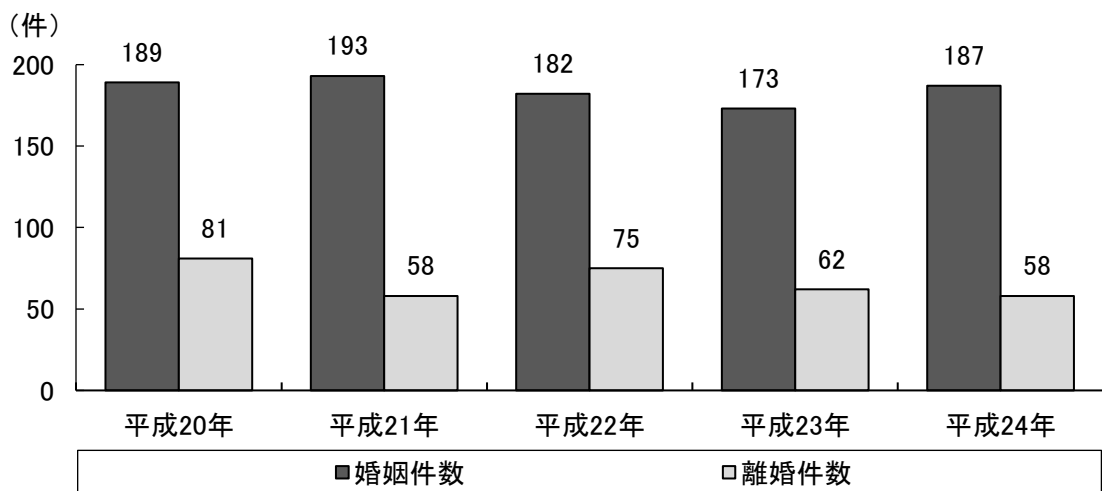
資料：住民基本台帳(各年 10 月)

## (2)人口動態

- ・西脇市の社会動態をみると、過去5年間ではいずれも転出者数が転入者数を上回っており、人口は減少を続けています。
- ・婚姻件数は毎年 170～190 件前後、離婚件数は 60～80 件前後を推移しています。



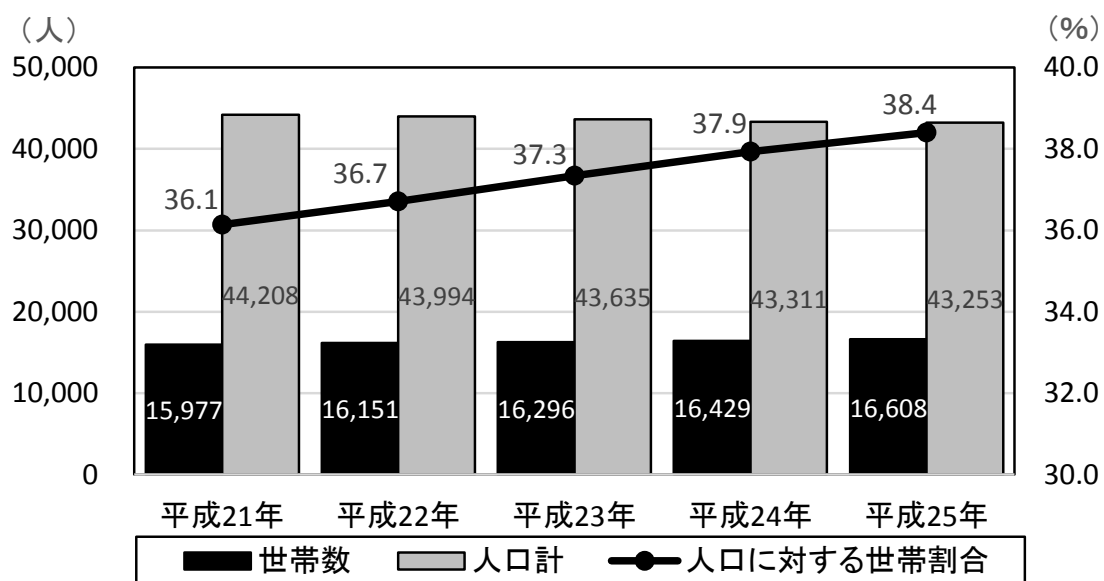
## ■ 婚姻・離婚件数の推移



### (3)世帯の状況

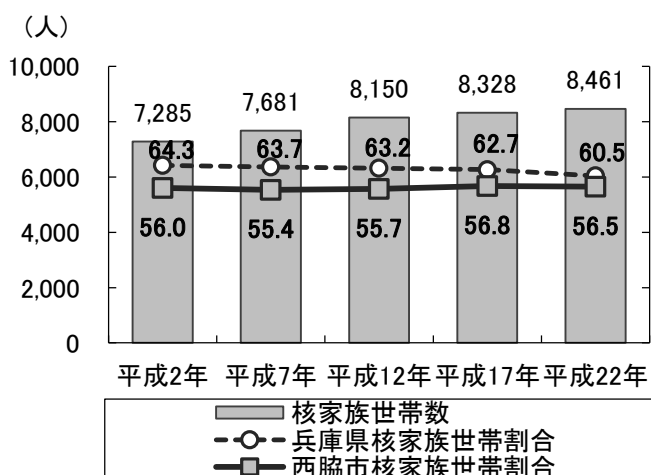
- 総人口が減少する一方で、世帯数は年々増加しています。人口に対する世帯数の割合をみると、年々高くなっています。
- 核家族世帯数も増加傾向にありますが、総世帯数に対する核家族世帯数の割合は兵庫県よりも低くなっており、複数世代での居住が比較的多くなっていることが考えられます。
- ひとり親世帯数の推移をみると、母子世帯は平成 2 年から 17 年まで増加を続け、その後平成 22 年に減少しています。父子世帯は、20~30 世帯前後を推移しています。

#### ■ 世帯数の推移



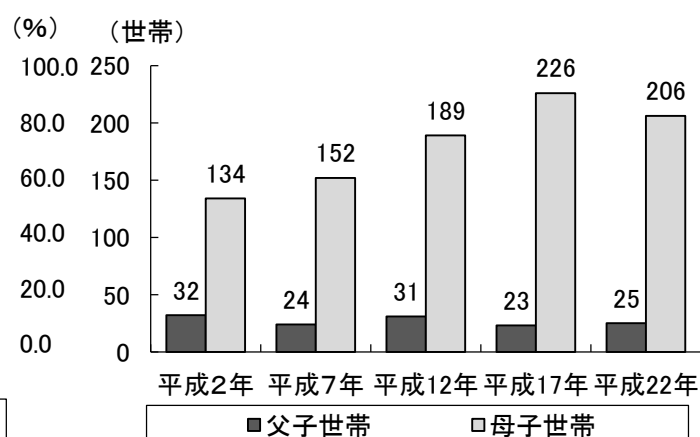
資料:住民基本台帳(各年3月)

#### ■ 核家族世帯数の推移



資料:国勢調査

#### ■ ひとり親世帯数の推移

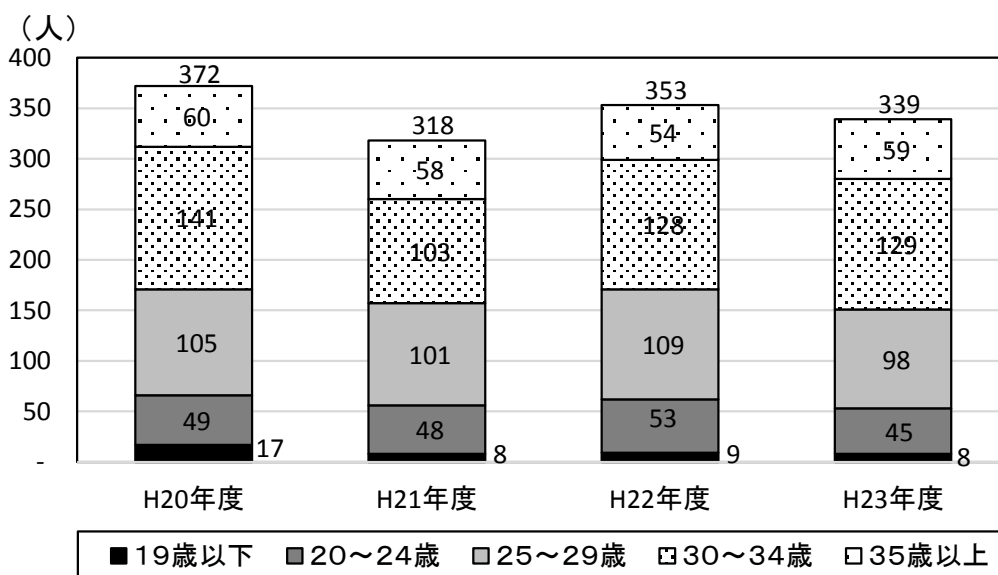


資料:国勢調査

#### (4) 出生の状況

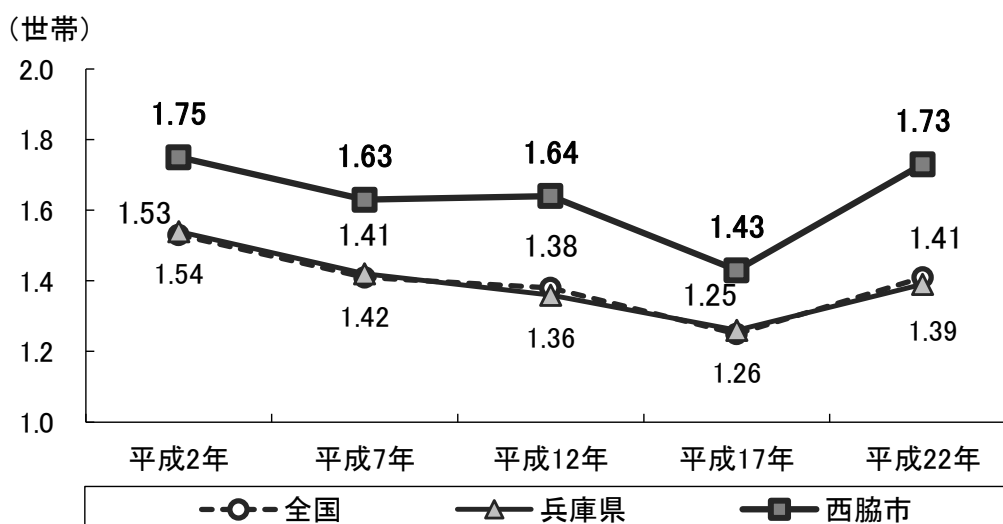
- 出生数は、300～400 人を推移している状況です。母親の5歳区切り年齢ごとの出生数の推移をみると、25～29 歳、30～34 歳での出産が多いことがわかります。
- また、合計特殊出生率は、全国や兵庫県と比較しても高くなっています。特に平成 17 年度以降の増加は、茜が丘への若い世代の転入が影響しているものと考えられます。

##### ■ 母親の年齢別にみる出生数の推移



資料:保健統計年報

##### ■ 合計特殊出生率の推移



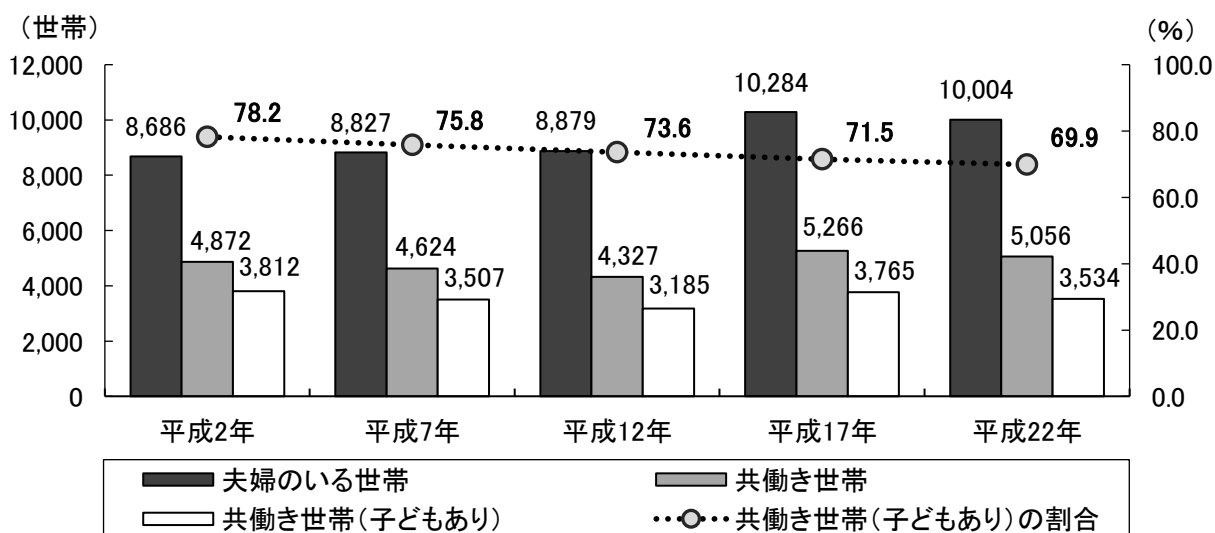
資料:兵庫県厚生統計



### (5) 労働の状況

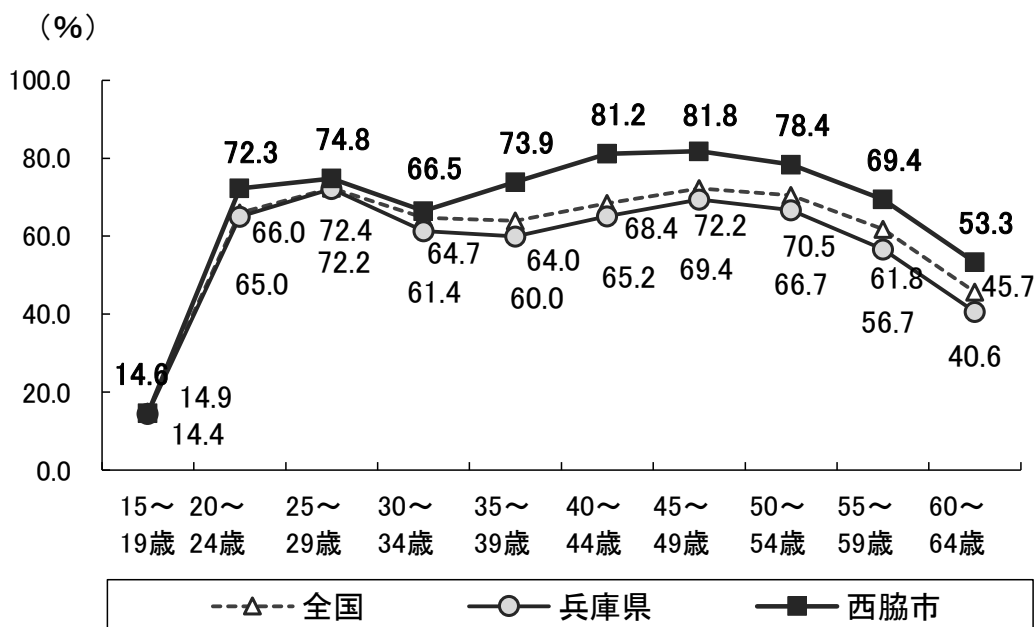
- 世帯数と共働きの状況についてみると、夫婦のいる世帯、共働き世帯、子どものいる共働き世帯のすべてが、平成 12 年から平成 17 年にかけて増加していますが、共働き世帯全体に対する、子どものいる共働き世帯の割合は平成 2 年から平成 22 年まで、継続して減少しています。
- 女性の労働力率をみると、平成 22 年では全国や県と比較して 20 歳以降のすべての年代で、全国や県を上回っています。特に子育てが一段落すると考えられる 35 歳以上の女性が労働力として戻ってくる傾向がみられます。

#### ■ 共働き世帯の状況



資料: 国勢調査

#### ■ 女性の労働力率(平成 22 年 全国・県・市比較)

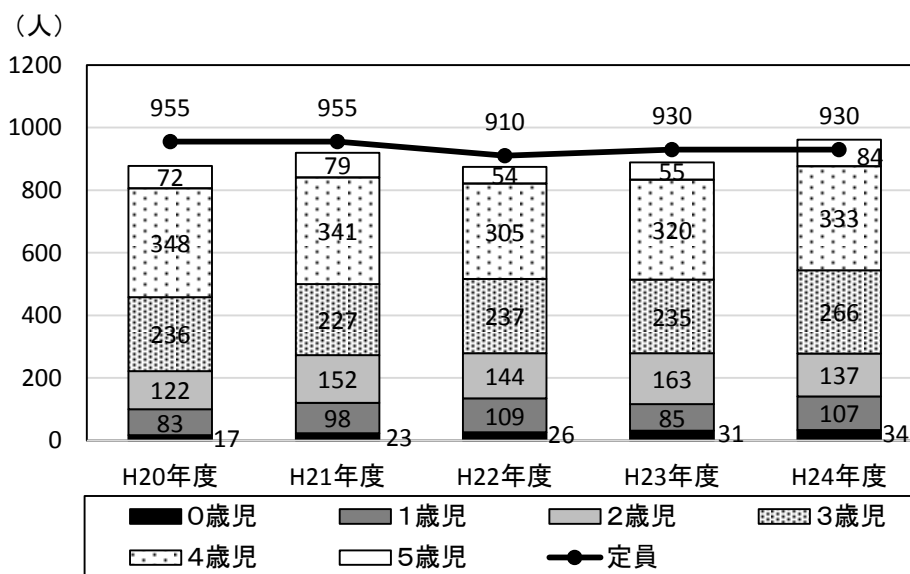


資料: 国勢調査

### (6) 保育所、幼稚園の状況

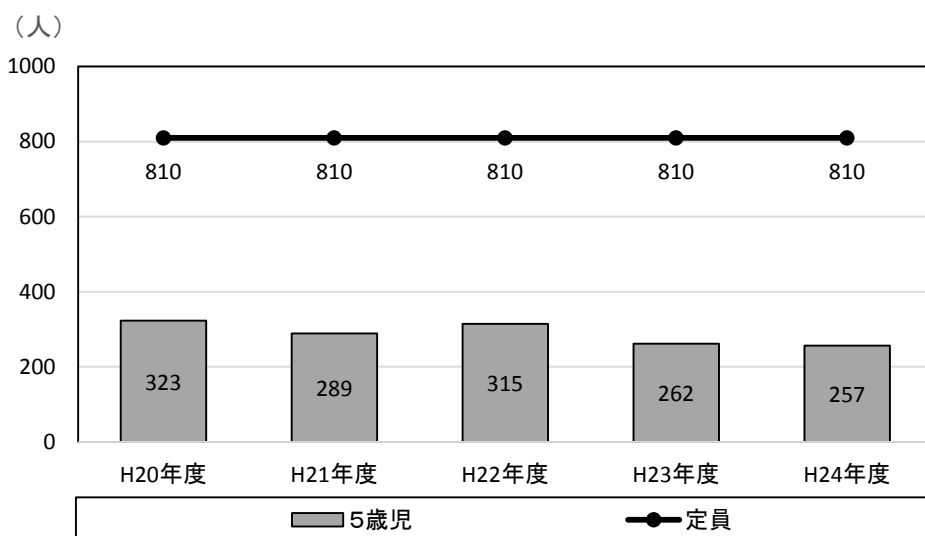
- ・ 保育所・幼稚園の状況をみると、多くの5歳児は保護者の就労状況にかかわらず幼稚園に通う、という特徴がみられます。
- ・ 保育所の通園児童数は、ほぼ定員と同数を推移している一方で、幼稚園では通園児童数が定員の半分以下という状況が続いています。

#### ■ 保育所の状況



資料：児童福祉課（各年5月）

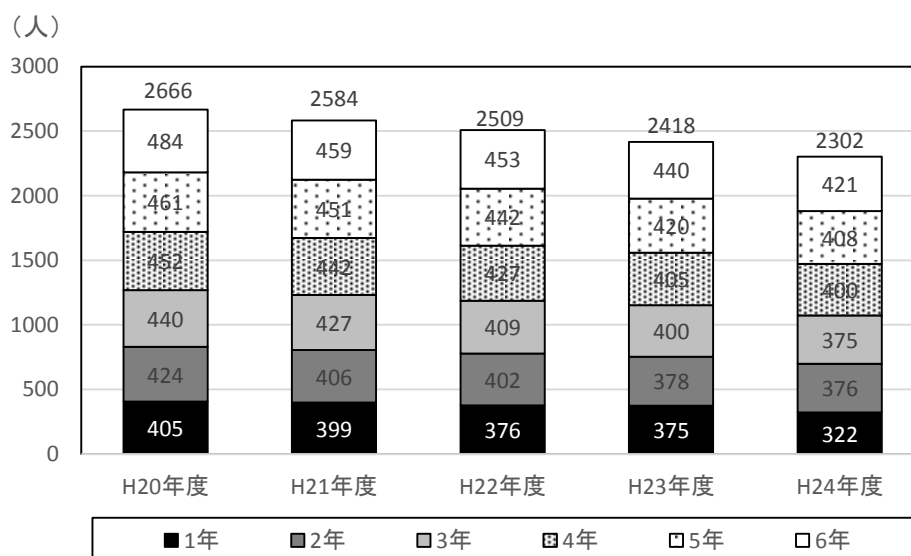
#### ■ 幼稚園の状況



資料：学校基本調査（各年5月）

### (7) 小学校児童数の状況

- 小学校の児童数の推移をみると、毎年 100 人前後の減少がみられます。平成 24 年度には、低学年（1～3年）ではそれぞれ 400 人を切っています。



資料:学校教育課(各年5月)

### (8) 放課後児童クラブの状況

- 児童数の減少にかかわらず、放課後児童クラブの利用児童数は横ばいに推移しています。低学年では毎年 350 人を超える利用がみられます。高学年は、放課後児童クラブを実施している学校等が限られるため、利用者数は一桁に留まっています。今後は、高学年でも、放課後児童クラブのニーズがある児童に対する受け入れ体制の構築が求められます。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
低学年	353	359	357	355	352
高学年	3	0	0	8	5

資料:生涯学習課(各年5月)

**(9)子育て支援事業の年間利用者数の推移**

- 子育て支援事業の利用者数は、年々増加傾向にあります。特に、子育て学習センター（へそっこランド、あいあいランド、わくわくランド）の利用に増加がみられます。

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
①へそっこランド		5,964	7,375	11,681
②あいあいランド		1,316	3,061	3,705
③わくわくランド		381	407	412
④レッツコミュニケーション事業		10,036	8,799	8,828
⑤地区マミの活動		3,326	2,980	3,092
⑥ボランティアサークル		4,336	2,980	4,798
⑦子育て支援サービス	登録保護者数	6	11	17
	利用者数	2	10	13
	利用時間	7	252.25	745

※①～⑥は年間延べ利用者数

資料：生涯学習課

※各種の実施事業の実施状況の追加等を検討中

## 2 ニーズ調査の結果概要

### ■ 実施概要

#### (1) 調査の目的

- ・子ども・子育てに関する実態とニーズを把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とすることを目的として、「小学校入学までの子ども（以下「就学前児童」という）」及び「小学生」の保護者を対象に調査を行いました。

#### (2) 調査概要

- 調査地域：西脇市全域
- 調査対象者：西脇市内在住の「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者  
西脇市内在住の「小学生」をお持ちの世帯・保護者
- 調査期間：平成 25 年 11 月 29 日～平成 25 年 12 月 18 日
- 調査方法：郵送配付・郵送回収

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童用	1,523	748	49.1%
小学生用	1,477	702	47.5%
合計	3,000	1,450	48.3%

■ 調査結果の概要

(1) 教育・保育サービスについて

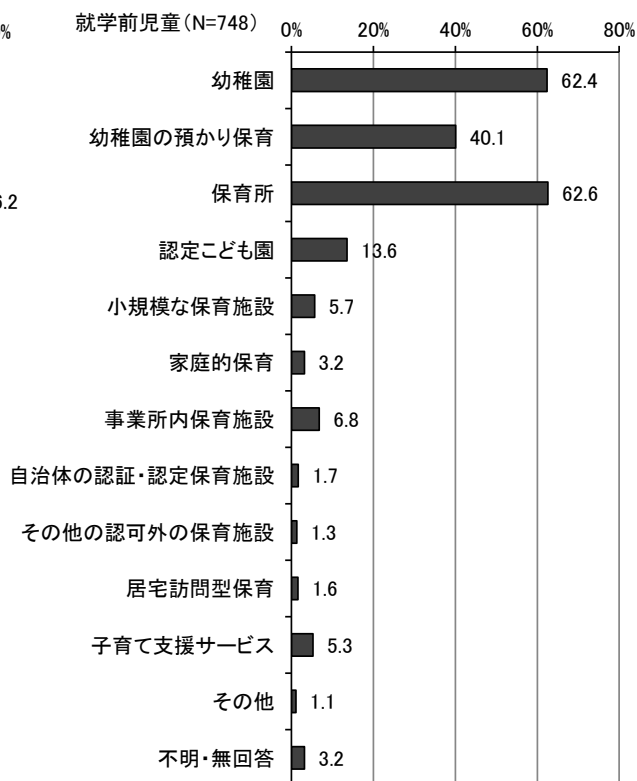
① 平日の教育・保育事業について（就学前児童調査）

・現在利用をしている事業については、「保育所」の割合が際立って高く、76.2%となっている一方で、今後利用したいと考える事業については、保育所以外の事業が増えています。年齢別にみると、「保育所」の割合が下がり、「幼稚園」の割合が高くなっています。年齢が上がるにつれ「教育」ニーズが高まることから、教育・保育の一体的提供についての検討が重要になります。

■ 平日に利用している教育・保育事業



■ 今後、平日に利用したいと考える教育・保育事業

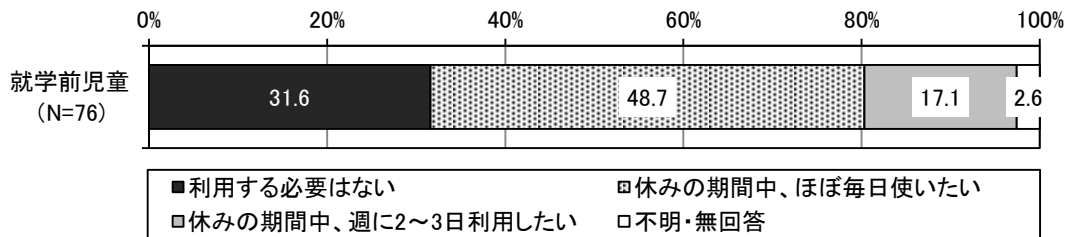


■ 年齢別 × 今後利用したい教育・保育事業

就学前児童 (N=748)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	子育て支援サービス	その他	不明・無回答
0歳	34 55.7	18 29.5	52 85.2	11 18.0	7 11.5	6 9.8	3 4.9	2 3.3	1 1.6	-	4 6.6	-	1 1.6
1歳	86 58.9	44 30.1	119 81.5	21 14.4	16 11.0	9 6.2	13 8.9	5 3.4	1 0.7	3 2.1	7 4.8	3 2.1	1 0.7
2歳	92 60.5	57 37.5	126 82.9	30 19.7	10 6.6	3 2.0	9 5.9	3 2.0	2 1.3	2 1.3	9 5.9	1 0.7	5 3.3
3歳	69 57.5	46 38.3	84 70.0	18 15.0	1 0.8	2 1.7	11 9.2	1 0.8	1 0.8	4 3.3	6 5.0	1 0.8	4 3.3
4歳	72 69.2	55 52.9	51 49.0	9 8.7	3 2.9	1 1.0	3 2.9	1 1.0	3 2.9	-	6 5.8	-	5 4.8
5歳	70 68.6	53 52.0	20 19.6	10 9.8	3 2.9	3 2.9	6 5.9	1 1.0	2 2.0	1 1.0	8 7.8	1 1.0	4 3.9
6歳	36 80.0	20 44.4	6 13.3	1 2.2	2 4.4	-	5 11.1	-	-	2 4.4	-	1 2.2	2 4.4
不明・無回答	8 44.4	7 38.9	10 55.6	2 11.1	1 5.6	-	1 5.6	-	-	-	-	1 5.6	2 11.1

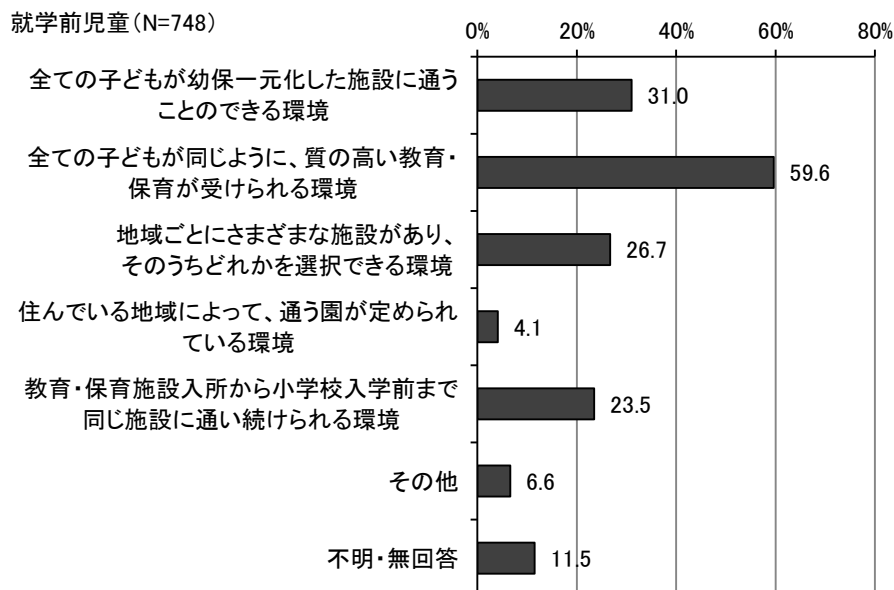
## ② 長期休業期間中の教育・保育事業の利用について（就学前児童調査）

- ・「週に 2～3 日以上利用したい」が 6 割を超えています。高いニーズへの対応策の検討が必要です。



## ③ 西脇市で必要な教育・保育の内容について（就学前児童調査）

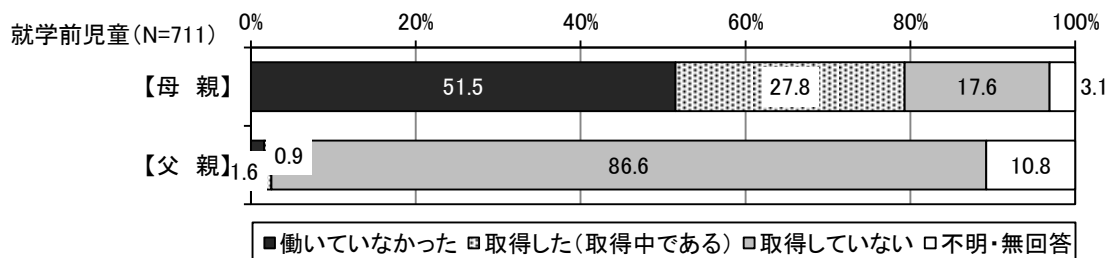
- ・「全ての子どもが同じように、質の高い教育・保育が受けられる環境」が 59.6%と最も高くなっています。



## (2) 仕事と子育ての両立について

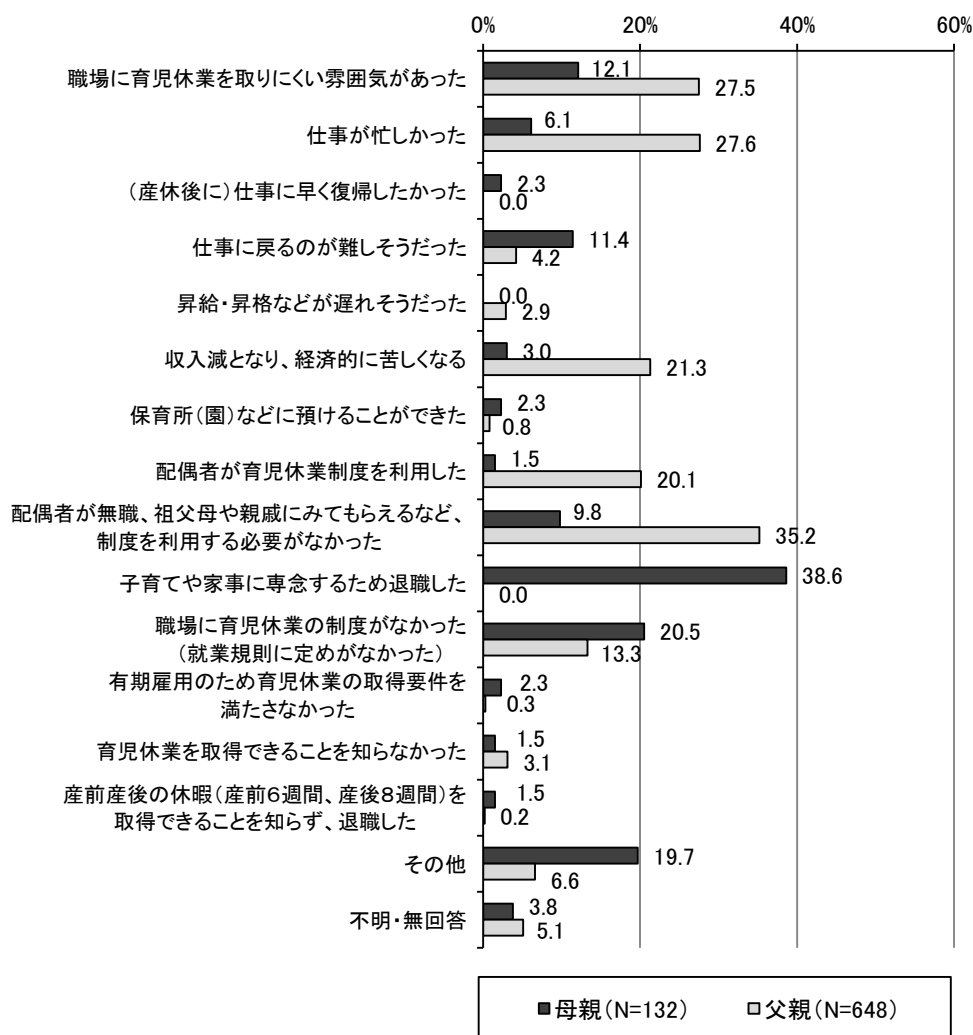
### ① 育児休業取得状況（就学前児童調査）

- ・母親では 27.8%の方の取得がみられますが、父親では 0.9%にとどまっています。



### ② 育児休業を取得しなかった理由（就学前児童調査）

- ・父親で育児休業を取得しなかった理由は「配偶者が無職。祖父母や親戚にみてもらえる」など、「制度を利用する必要がなかった」がもっとも多かったものの、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」も多く、父親の育児参加には、職場の理解や支援が求められることがうかがえます。

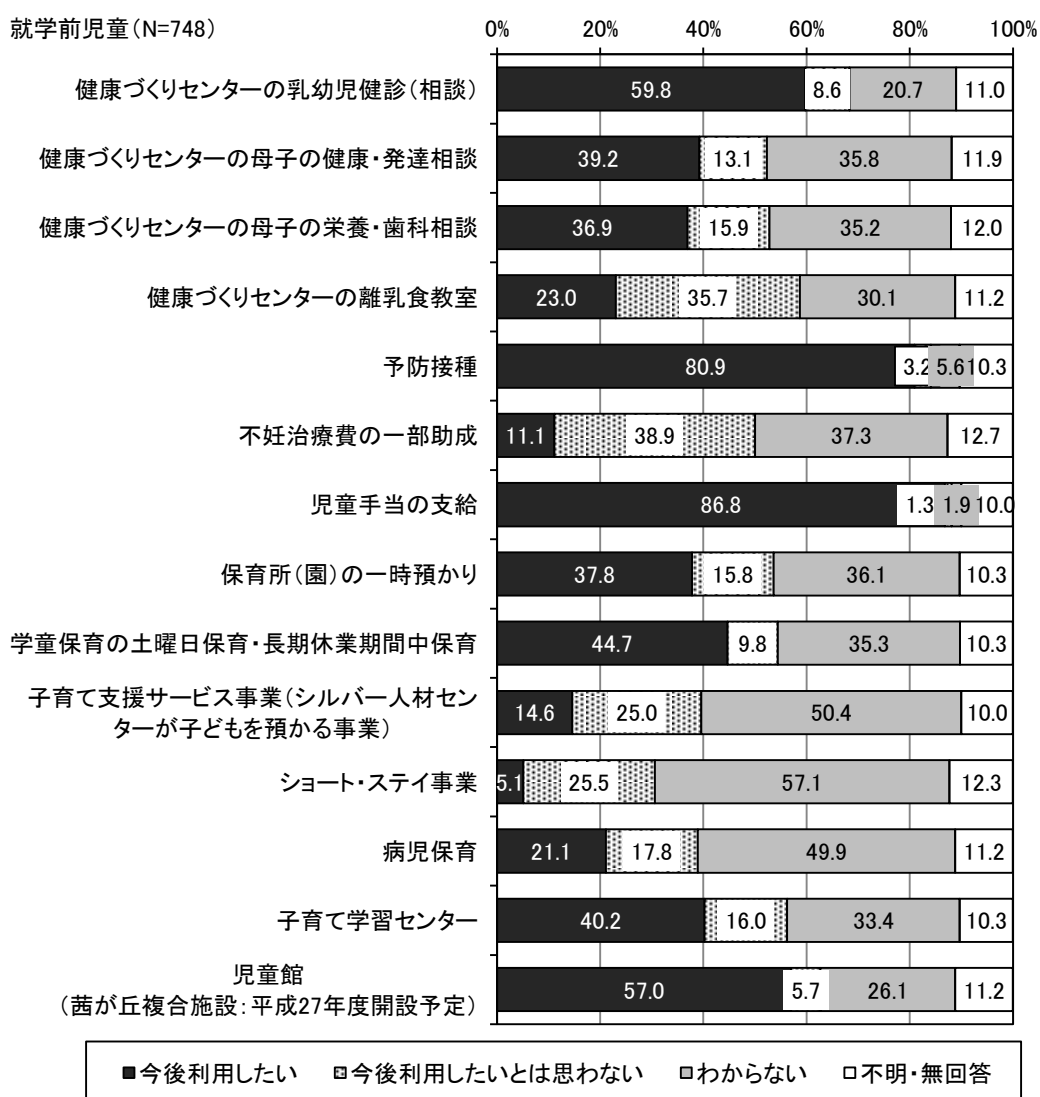




### (3) 西脇市の子育て支援について

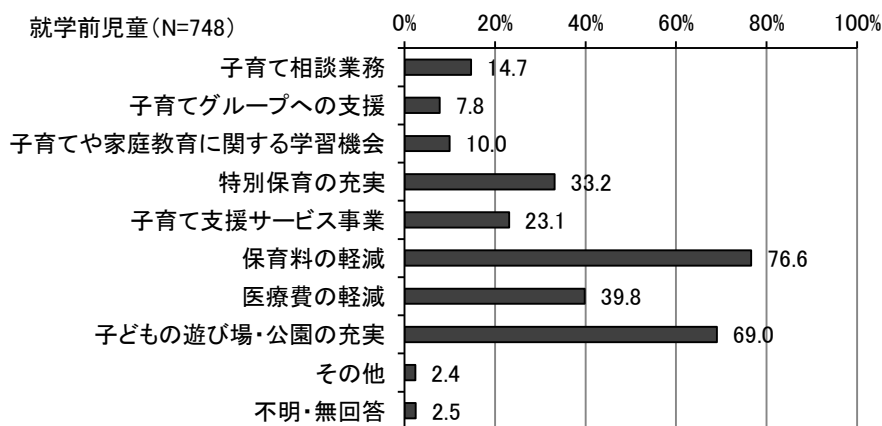
#### ① 西脇市の子育て支援サービスの今後の利用意向（就学前児童調査）

・「児童手当の支給」や「予防接種」、「健康づくりセンターの乳幼児健診（相談）」など、医療や金銭面に対する支援を求める声が多い中で、「児童館（茜が丘複合施設）」の利用意向も、57.0%と高くなっています。新しく完成する複合施設に対する子育て世代からの期待がうかがえます。

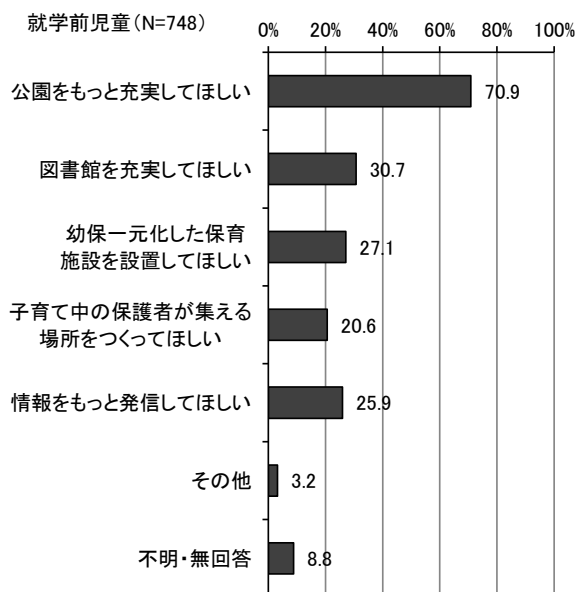


## ② 西脇市に必要な子育て支援サービス（就学前児童・小学生調査）

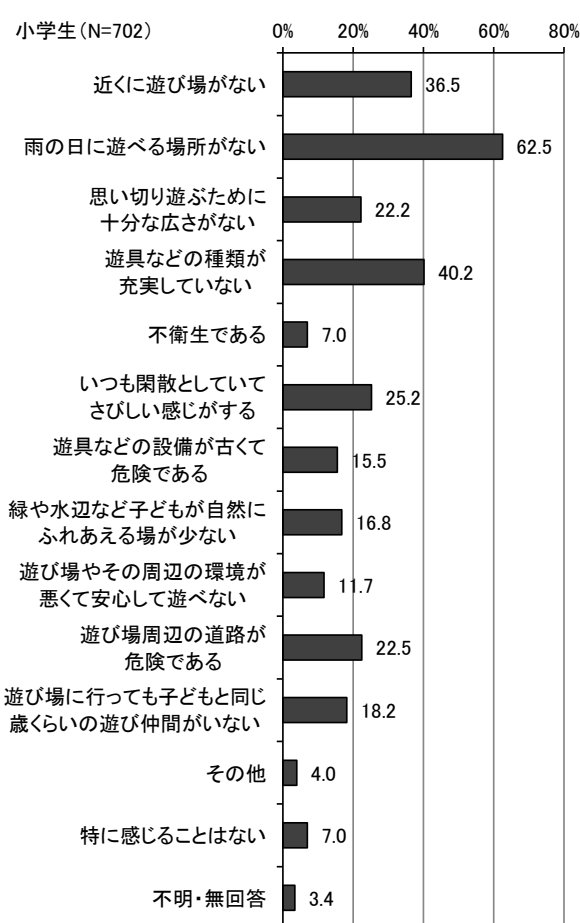
・「保育料の軽減」や「子どもの遊び場・公園の充実」が、多くなっています。この2つの項目について充実を求める声は自由意見欄でも多くみられたため、改善策の検討が重要です。



### ■子どもの遊び場や居場所で充実してほしいこと



### ■地域の子どもの遊び場に関して日頃感じること



**(4) 自由記述意見****① 修学前児童の保護者**

- ・環境整備、幼稚園教育、医療、保育料についての意見が多く集まりました。中でも「保育料が高い」が 26 件と最も多くなっています。

<b>環境整備等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の整備…41 件</li> <li>・安心・安全を第一に考えてほしい…10 件</li> </ul>
<b>幼稚園教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2・3年保育にしてほしい…13 件</li> <li>・(預かり保育含め)幼稚園教育を続けてほしい…7件</li> </ul>
<b>医療の体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育を充実させてほしい…8件</li> <li>・医療費の無料延長を希望…4件</li> <li>・医療費助成は助かる…3件</li> <li>・病院(夜間・休日の小児科)を充実させてほしい…2件</li> </ul>
<b>保育料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育料が高い…26 件</li> <li>・所得に応じて変わるの反対…2件</li> </ul>
<b>子育て学習センター</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと各地区で充実させてほしい…6件</li> <li>・雰囲気暗い、おもちゃが汚い…3件</li> <li>・このような場所があり、ありがたい…11 件</li> <li>・先生方が熱心でありがたい…4件</li> <li>・利用の仕方が分からない…3件</li> </ul>

**② 小学生の保護者**

- ・環境整備、学童保育についての意見が多く集まりました。中でも「公園の整備」が 52 件と最も多くなっています。保護者がいなくても外で遊ぶことができるための環境整備が求められています。

<b>環境整備等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の整備…52 件</li> <li>・歩道(通学路)の整備…12 件</li> <li>・各地域の施設整備…8 件</li> <li>・雨の日に遊べる場所がほしい…5 件</li> </ul>
<b>学童保育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の充実(時間延長等、利用しやすくしてほしい)…23 件</li> </ul>
<b>医療の体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費を無償化してほしい…10 件</li> <li>・病児・病後児保育の整備…5件</li> <li>・医療体制を充実させてほしい…3件</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きながらも子育てができる環境づくりをしてほしい…5件</li> <li>・地域全体で支え合いながら子育てしていける雰囲気をにつくってほしい…9件</li> <li>・障害児への支援が必要…6件</li> <li>・平成 27 年度開館予定の茜が丘複合施設に期待している…3件</li> <li>・「不審者に対する意識を持って生活する」ための指導をしてほしい…3件</li> </ul>

### 3 保護者インタビュー調査結果の主な内容

- ・ニーズ調査に加えて、子育て世代の「生の声」を伺うため、子育てサークル参加者や子育て支援グループ関係者、子育て世帯の市職員へのインタビュー調査を実施しました。
- ・普段通っている保育園や幼稚園のこと、小学校入学前に不安に思っていること、西脇市の子育て環境の良いところや改善点等、地域の実状に沿った課題について話していただきました。

#### (1) 西脇市の子育て支援で良いところ

・子育て学習センターなどで、多くの親子と出迎え、子育ての情報交換ができ、友達になれる
・子育て学習センターの活動が充実している
・親身になってくださる職員の方々に支えられ、安心して参加できる
・いろいろな行事(イベント)があり、気軽に参加できる
・たくさんの子育てボランティアグループがあるので、多くの方々と交流を持つことができる
・親子で触れ合う機会が多くあり、子どもにとっても親にとっても刺激になる
・いろいろな経験ができる機会を作ってもらえる
・児童館の設置がうれしい
・保育園で異年齢の子と遊んでもらえる機会が持て、その際、保育園の見学にもなる
・未就園児が集える拠点(子育て学習センター)があり、広場も多数開催され、保育園や幼稚園へ行く機会も作ってくださるので感謝している

#### (2) 西脇市の子育て支援で改善すべきところ

・公園を増やしてほしい
・一時預かりや病児保育、シルバー人材センターによる預かりなど、利用方法がよく分からないので情報がほしい
・全ての保育園で一時預かりをしてほしい
・保育料が高いので、軽減してほしい
・(小野のひまわり公園のように)外でも室内でも子どもたちが精いっぱい遊べるようなところがほしい
・予約をしなくても、気軽に、安心して一時預かりをしてもらえるシステムがほしい
・子育て学習センターをもっと広くてきれいにし、おもちゃもたくさん増やしてほしい
・保育園に通う親の教育(指導)をしっかりしてほしい
・健康づくりセンターが少し暗くて、入りにくい感じがある
・子育て学習センターで指導されていることの体制づくりをもっと充実させるため、行政・地域・保護者一人一人が理解を深め、「西脇で子育てができて良かった」と、子育ての楽しさを実感できるような環境づくりを進めてほしい
・行事(イベント)の準備や片付けなど、市の職員に頼り過ぎではないか。ボランティアサークルの方だけでなく、参加する親も、もう少し自主的に運営してもよいのでは
・幼保一元化だが、「幼稚園は学校に入る準備段階として、とても大切な時期」なので、もっと時間をかけて市民が納得していくように話をしてほしい
・若いお母さんの中にはシルバー人材センターによる預かりに抵抗がある方も少なくないので、ファミリー・サポート・センターもあるとよいと思う
・病児保育をしてくれる園や、受入れ人数をもっと増やしてほしい(2人では少ない)

### (3) 子どもの遊び場や生活環境で気になること

・公園が近くにないので増やしてほしい
・子どもが遊びに行ける屋内施設がない
・年齢にあった公園がほしい(小さい子ども向け遊具など)
・公園の手入れをしてほしい (遊具が古い、手入れがされておらず視界を遮られて危ない、ごみが散乱、犬の糞などがあって不衛生)
・道路の環境を整えてほしい(横断歩道や街灯が少ない、溝フタがなく危険等)
・車の免許を持たない母親が、歩いて行ける遊び場が少ない。そういう親への対応も大切
・遊ばせながら買い物ができるような施設がない
・児童館が無い
・見守り隊の方には感謝している。安心して通学させることができる
・通学路の人数が少ないところや通学児童の少ないところでも見守り隊の方がおられると安心

### (4) 保育園、幼稚園、学童保育について感じる事

・保育時間が短いので、延長保育を充実させてほしい
・園児の数に対して保育士が少ないと思うので、増員してほしい
・幼稚園を2年、3年保育にしてほしい
・全てを認定こども園にするのではなく、幼稚園も残してほしい
・園に駐車場が無い、また、少ないので困っている
・幼稚園の施設が古く、園庭が狭い。また遊具も少ない
・幼稚園によっては、子どもの数に対して部屋数が足りていないように感じる
・幼稚園を完全給食にしてほしい
・外でもっと遊ばせてほしい
・地域との交流がもっとあればいいと思う
・1週間とか1ヶ月とか短期で、安く預かってもらえたらいいと思う

### (5) 仕事と子育ての両立について

・休暇の取りやすさは上司にもよるが、子どもが1歳で、病気ときは休んでおり、職場には迷惑をかけていると思う
・休暇をとりやすい制度があれば良いと思う
・就学前は、インフルエンザなどのときのための「看護休暇」があるが小学生は無い。学級閉鎖のときも困っている
・同居している家庭は、残業等で帰りが遅くなったとき、祖父母や親戚にお迎えを任せられるが、同居していないので困っている。今後、正規で勤める方も増えていくと思われるので、預かり時間をもう少し伸ばしてもらおうと助かる人が増えると思う
・学童保育はお迎えの時間が 18 時半までのため、間に合わない。小学校と家が近いので、子ども1人でも帰ることを許可してほしい
・子どもが病気になったとき、父母で交互に 2 週間見たことがあったが、慣れている保育園での病児・病後児保育をしてほしい
・西脇市に病児保育制度はあるが、活用できていない(活用しづらい雰囲気がある)
・シルバー人材センターによる預かりは良いサービスだと思うが、事前予約が必要なので使いづらい

#### 4 西脇市次世代育成支援対策推進行動計画(後期)の取組状況と評価

- ・西脇市次世代育成支援対策推進行動計画では、目指すべき目標像を『心豊かな未来をはぐくむ ふれあい・安心・子育てのまち 西脇』とし、総合的な施策の展開を図ってきました。
- ・その施策内容と実績について、各施策の所管課において、「A:達成できた」「B:ほぼ達成している」「C:達成に至っていない」の三区分で評価を行いました。その進捗状況の評価を踏まえ、本計画に反映します。

#### (1) すべての家庭の子育ての支援

##### ① 家庭や地域の子育て力の向上

施策名	進捗状況	内容と実績
子育て支援体制の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭児童相談員2名による相談窓口の設置</li> <li>・児童福祉課の窓口での情報提供</li> <li>・各種母子保健事業を通じた相談支援</li> </ul>
子育て支援ネットワークづくり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあいランド、わくわくランド等の実施</li> <li>・地区マミィを中心とした地区ネットワークの構築、地区子育てフェスティバルの開催</li> <li>・民政委員児童委員、シルバー人材派遣センター、子育て支援ボランティア等の連携</li> </ul>
学習機会の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな子育て支援イベントや事業の実施</li> </ul>

##### ② 子育て支援制度・サービスの充実

施策名	進捗状況	内容と実績
保育・子育て支援サービスの充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育事業の実施</li> <li>・レッツコミュニケーション事業の実施</li> </ul>
経済的支援の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所入所3人目以降の保育料無料化</li> <li>・毎年の保育料の見直し</li> <li>・5歳児の保育所保育料を市立幼稚園並みに見直し</li> <li>・各種手当や費用の助成</li> </ul>

## ③ きめ細かな配慮を必要とする子育て家庭への支援

施策名	進捗状況	内容と実績
児童虐待の防止	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会の開催</li> <li>・家庭児童相談員の配置</li> <li>・育児支援家庭訪問事業の実施・健康課との連携</li> </ul>
ひとり親家庭への支援	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25 年度より母子自立支援員を 2 名に増員</li> <li>・各種助成・援助制度の促進</li> </ul>
障害のある子どもを対象とした施策の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児ふれあい交流事業の実施</li> <li>・巡回訪問による障害の早期発見、適切な援助の紹介等</li> <li>・小中学校への介助員の配置</li> </ul>

## ④ 仕事と子育ての両立の推進

施策名	進捗状況	内容と実績
子育てと仕事の両立の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所を通じた事業者への周知</li> <li>・ハローワークとの連携のもと、面接会等の実施・広報</li> <li>・再就職セミナーを毎年実施</li> </ul>
男女共同による子育ての推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父子対象の体験型セミナー等を開催する等、父親の育児参加の機会・啓発</li> </ul>
雇用・就労機会の拡充	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致による雇用の確保</li> <li>・職業能力の向上を図る職能訓練センター事業（ハローワークと連携）の支援</li> </ul>

## (2) 母と子の健康を支える環境づくり

## ① 子どもや母親の健康の確保

施策名	進捗状況	内容と実績
母子保健事業の拡充	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種健診の実施</li> <li>・予防接種事業の実施</li> <li>・西脇おやこ交流教室の実施</li> <li>・朝食調査事業の実施</li> </ul>
母と子の健康を支える環境の整備	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙指導の実施</li> <li>・事故予防に関する情報の提供</li> <li>・有害物質に関する情報提供</li> </ul>
小児救急医療体制の整備	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発資料を保護者に配布、知識の普及</li> <li>・医療機関への適切な受診啓発の普及</li> <li>・休日夜間の小児救急の実施（広域）</li> </ul>

## ② 学童期・思春期における保健対策の充実

施策名	進捗状況	内容と実績
思春期保健対策の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発チラシの作成・配布</li> <li>・食育の推進</li> <li>・児童と乳幼児のふれあい交流事業</li> <li>・各校における性教育指導</li> </ul>
思春期における心の問題への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種相談事業の実施</li> </ul>

## (3) 子どもたちの生きる力と豊かな心の育成

## ① 生きる力をはぐくむ教育環境の整備

施策名	進捗状況	内容と実績
豊かな人間性をはぐくむ教育の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導方法などの情報提供</li> <li>・各学校の計画に基づく計画運営支援</li> <li>・体力・運動能力調査の実施</li> <li>・伝統文化にふれる教育の推進</li> <li>・放課後子ども教室の実施</li> </ul>
教育内容・方法の改善	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数教育の実施</li> <li>・教職員の研修会の実施</li> <li>・生徒指導の実施</li> </ul>
幼稚園教育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の実施</li> </ul>
開かれた学校・幼稚園づくりの推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア登録者の増加</li> <li>・事業の実施</li> </ul>
障害児教育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回相談の実施と指導方法の普及</li> <li>・個別指導や別室指導の強化</li> <li>・ICT 機器等を活用した学習指導の実施</li> </ul>



## ② 地域における青少年の健やかな育成

施策名	進捗状況	内容と実績
子どもの居場所づくりの推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動の推進</li> <li>・放課後子ども教室の実施</li> <li>・高齢者福祉施設での交流活動</li> <li>・ちびっこまつりでの交流</li> </ul>
身近な遊び場の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園のトイレの水洗化、バリアフリー化</li> <li>・公園の滑り台等 37 基の遊具を新設・更新</li> <li>・美化活動の展開</li> <li>・地域の子どもたちへの園庭開放</li> </ul>
体験・交流活動の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トライやる・ウィークの実施等</li> <li>・放課後子ども教室の実施</li> <li>・西脇おやこ交流教室での高齢者との交流</li> <li>・ちびっこまつりでの交流</li> </ul>
青少年のこころの問題への対応強化	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの配置</li> </ul>
青少年健全育成活動の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ボランティア・事業の実施</li> </ul>

## ③ 次代の親の育成

施策名	進捗状況	内容と実績
母性・父性をはぐくむ教育の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画セミナーの実施</li> <li>・男女共同参画川柳コンクールの実施・啓発</li> <li>・子育て講演会(家族編)の実施</li> <li>・児童と乳児のふれあい交流事業(市内8小学校)の実施</li> </ul>
次代をはぐくむための広報・啓発の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙を通じた情報発信</li> </ul>
若者の自立の促進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査の内容集約し、チラシ配布</li> <li>・保健指導のための健康・安全研修の開催</li> </ul>
若者の交流の場づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民グループ「未来予想図の会」が開催する年1回出合いのパーティーの実施</li> </ul>

## (4) 子どもと子育て家庭にやさしい環境づくり

### ① 子育てしやすい生活環境の整備

施策名	進捗状況	内容と実績
子育て家庭に配慮した住環境づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化パトロールの実施</li> <li>・啓発看板の設置や啓発チラシの配布</li> <li>・緑化祭や花いっぱい運動の実施</li> <li>・計画的な公営住宅の整備・改修</li> </ul>
安全な交通環境づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体からの要望に基づく、ガードレール、カーブミラー等の交通安全施設及び防犯灯の設置</li> </ul>
福祉のまちづくりの推進	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のまちづくり」条例に基づき配慮された施設の建設、既存の施設にはおむつ交換台を設置</li> <li>・3公園でのトイレの水洗化、バリアフリー化の実施、状況に応じてベビースートの設置</li> </ul>

### ② 子どもを取り巻く安全の確保

施策名	進捗状況	内容と実績
交通安全対策の推進	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路合同点検結果に基づき、注意標識の設置、路肩のカラー化等を実施</li> <li>・要望に基づく看板等の設置</li> <li>・小・中・幼・保の各学校園における交通安全教室の実施</li> </ul>
子どもを守る取組の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西脇市青少年補導委員会による巡回補導</li> <li>・有害環境調査の実施</li> <li>・インターネット端末に係る危険性の講演会実施</li> <li>・各学校園における学校安全防災計画の策定と計画に基づく防災対策訓練の実施</li> </ul>

## 5 現状と課題を踏まえた今後の方向性

- ・本市の子ども・子育てを取り巻く現状やニーズ調査結果、西脇市次世代育成支援対策推進行動計画の評価等から見えてきた課題や、今後、西脇市が取り組むべき方向性を次のとおり整理しました。

### (1) 幼保の連携による教育・保育の一体的な提供

- ・社会状況の変化や保護者等の就労状況、価値観の多様化などにより、保育ニーズも変化、多様化しています。本市においても、子どもが育ちやすい環境を整備するため、きめ細やかな支援を検討していく必要があります。
- ・一方で、就学前教育・保育に「質」を求める声も多く挙げられています。ニーズ調査や保護者へのインタビューでは、「幼児期の学校教育に対する期待」を述べる意見が多くみられました。また、約 6 割の就学前児童の保護者が、「幼稚園の複数年化」や「全ての子どもが同じように、質の高い教育・保育が受けられる環境が望ましい」と回答しています。
- ・就学前児童が質の高い教育・保育を平等に受けられることができるよう、各施設では教育・保育を一体的に提供していくことが求められます。
- ・今後は、認定こども園化を図るなかで、子どもたちへの「平等な機会の提供」と、「質の高い教育・保育を提供」していくことが重要です。
- ・また、保護者の就労状況等、各家庭の状況に合わせた支援ができるよう、通常の保育時間を過ぎた後の一時預かりや、休日、長期休業期間中の対応など、より一層の保育サービスの充実が求められます。

### (2) 情報提供や相談体制の充実

- ・保護者へのインタビューでは、西脇市の子育て支援制度について、「利用方法がよく分からないので、利用するのに抵抗がある。」や「利用しづらい雰囲気がある」という意見が多くみられました。
- ・子育て家庭が抱える様々な課題を解決していくためには、「サービスや支援に関する情報が利用者に適切に行き届くこと」や、「気軽に相談できる窓口があること」が重要です。
- ・子育てに悩みを抱え、孤立する親が増加していることから、平成 27 年度新設予定の茜が丘複合施設「Miraie（みらいえ）」に、適切なサービスを提供する支援窓口や相談窓口のナビゲーターとなる「コンシェルジュ」を設置することにより、相談事業の充実に努めます。また、親子や地域の人々が気軽に交流できる環境づくりを進めます。
- ・「総合相談窓口」としての「窓口の一本化」や「ICT 技術の活用」など、情報へのアクセスがしやすくなる環境を整え、広く市民に情報が伝わること、また、個人の相談内容に応じた的確な支援を行っていくことが重要です。

### (3) 仕事と子育ての両立を支援する環境づくり

- ニーズ調査では、「育児休暇を取得したことがある」と回答した男性が1%に満たない状況となっています。今後は、地域全体の男女共同参画をとりまく意識の醸成を図るとともに、家庭内における男性の育児参加の促進等を図っていくことが重要です。
- 事業主においては、男女共に子育て中の労働者が子育てに向き合えるよう、長時間労働の是正、育児休業や短時間勤務を取得しやすい環境づくり、職場復帰支援などの「ワーク・ライフ・バランス」が図られるような雇用環境の整備を行うことが求められます。
- また、「子どもや保護者が病気になってしまったとき」や、「どうしても仕事で遅くなってしまいお迎えに行けないとき」などのサービスの提供体制の充実が求められています。
- 保護者へのインタビューでも、「預かり保育の時間延長」や「病児保育の充実」を求める声が多く挙がりました。
- 特に共働き家庭では、ワーク・ライフ・バランスを整えるための体制の強化や、各就学前施設の更なる協力が求められます。

### (4) 子どもたちの居場所づくり

- 「西脇市で充実してほしい子育てサービス」として、約7割の就学全児童の保護者が、「子どもの遊び場・公園の充実」と回答しています。
- また、公園の整備や雨の日に遊べる場所の確保など、各地域での子どもたちの居場所を求める声も多くみられました。
- 児童館や子育て学習センターなどの子どもたちが集うことができる場合は、保護者にとっても、情報交換や悩みを相談する場になるため、子育て世帯の孤立を防ぐためにも大切な空間です。
- 平成27年度には、茜が丘複合施設「Miraie（みらいえ）」内に、「子育て支援施設」（児童館/子育て学習センター）が新設されます。子どもたちが安全・安心に元気いっぱい遊べるような環境を整えていくことが、今後重要な課題となっています。

## 第3章 計画の基本理念と施策の体系

### 1 計画の基本理念

- 本市では、総合計画において「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまち にしわき」を将来像として掲げ、その実現に向けた基本政策（健康・子育て・福祉）を「ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち」としています。
- 子ども・子育て支援法に基づく基本指針では、「父母その他の保護者は、子育てについての第一義的責任を有する。」という基本的認識が示されています。地域や社会が保護者に寄り添い、保護者が喜びや生きがいを感じながら、すべての家庭が安心して子育てができる体制づくりが重要です。
- 平成 26 年度末で計画期間が終了する「西脇子ども未来プランⅡ（西脇市次世代育成支援対策推進行動計画）」では、目指すべき目標像を『心豊かな未来を育む ふれあい・安心・子育てのまち 西脇』とし、総合的な施策の展開を図ってきました。
- 本計画では、これらを踏まえ、家庭での子育てを基本としながらも、地域社会全体で子育て家庭を支援し、すべての子どもが保護者や地域の人々とともに、健やかに成長することができる社会の実現を目指し、以下の理念を掲げます。

#### ■ 基本理念（案）

**すべての子どもたちの笑顔があふれるまち 西脇**  
**～育てる喜びを感じられるまちへ～**

**子どもが 親が 地域が**  
**ともに学び成長し 笑顔あふれるまち 西脇**

**笑顔の子どもが育つまち**  
**かいっぱい 学びあい 地域で育む 西脇っこ**

**みらいへ ～Miraie～ つなぐ**  
**子育て・子育てのまち 西脇**

- すべての子どもたちの最善の利益が尊重され、子どもの成長を通して喜びを感じる中で、子どもはもとより、保護者や地域みんながともに成長することを目指します。
- まち中に、子どもたちの笑顔があふれることは、保護者を含めた地域全体に笑顔をもたらします。子育ての喜びを感じられる西脇市を目指していこうとするものです。

## 2 計画の基本目標

- ・本計画では、計画の理念を達成するため、以下の 6 つの基本目標を掲げます。（「西脇子ども未来プランⅡ」の基本方向を受け継ぎます。）

### 1. 就学前教育・保育事業の充実

子ども・子育て支援新制度に基づき、子育て家庭のニーズに応じて幼児期の教育・保育を一体的に提供できる環境整備を進めます。保育の量的な確保に努めると同時に、子どもたちがさまざまな力を身に付けながら成長できるよう、質の高い教育・保育を保障します。

### 2. 地域子育て支援事業の充実

地域の実情に応じた子育て支援サービスの充実を図ります。また、子どもの育ちを地域全体で支援するため、子育てに関する意識を高めるとともに、地域における子育て支援の仕組みづくりを進めます。保護者が気軽に悩みを相談する場所をもつためにも、茜が丘複合施設を中心に、教育・保育施設など、親子や地域住民が気軽に参加し交流できる環境づくりを進めます。

### 3. 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり

男女がともに協力して子育てができるよう、親の子育て力の向上や子育ての参加促進に努めるとともに、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めます。

### 4. 子どもと親の健康を支える環境づくり

子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、妊婦健診や乳幼児健診等、各種母子保健事業や小児医療体制の充実を図ります。また、子どもが健やかに育つことができるよう、家庭や幼稚園・保育所・学校等では、基本的な生活習慣を身に付けられるよう努めます。

5. 子どもが安心して育つ環境づくり

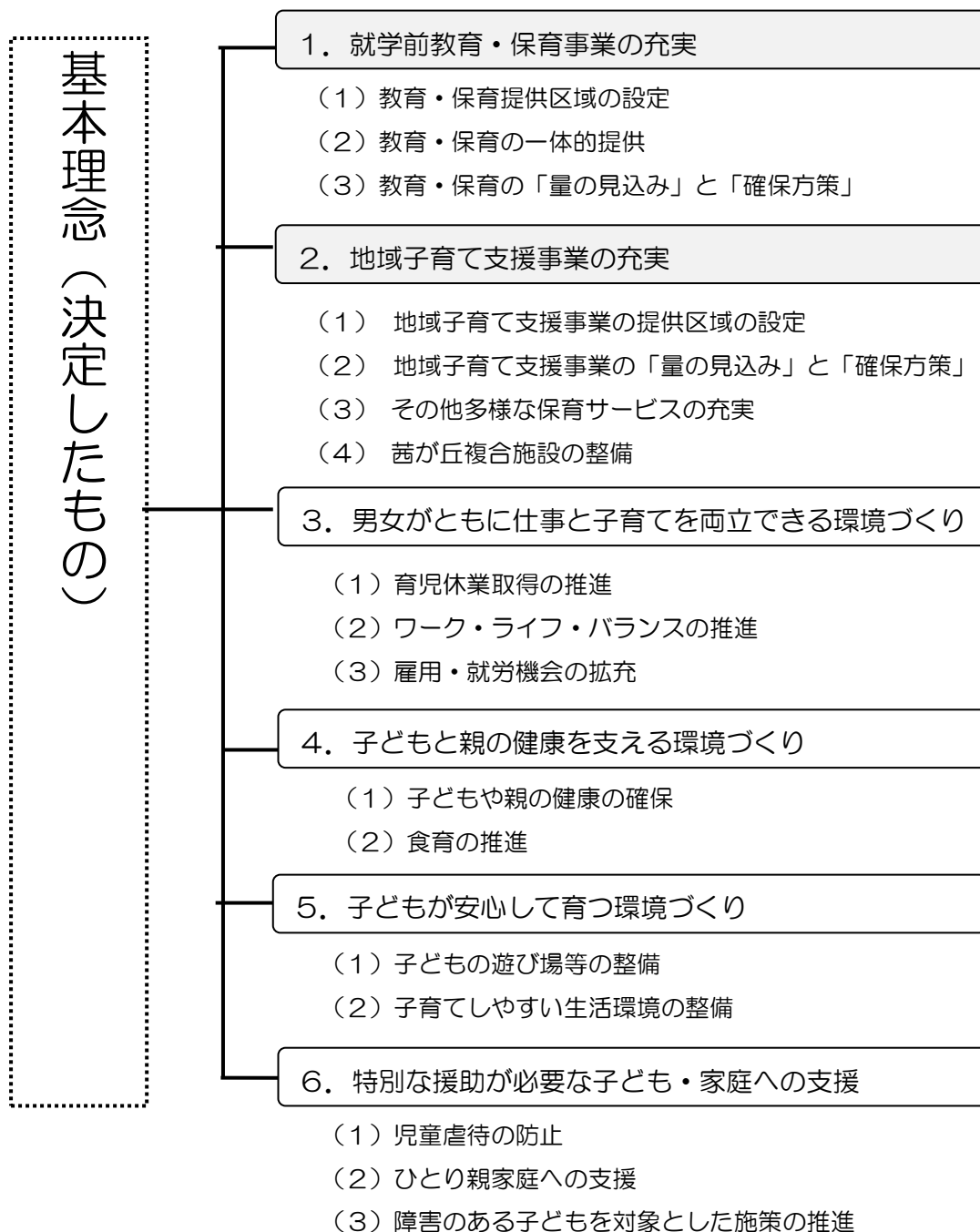
遊び場や公園の充実、整備を進めます。また、交通安全についての啓発を進め、地域で元気に遊べる子どもを育てます。

6. 特別な援助が必要な子ども・家庭への支援

ひとり親家庭や障害のある子ども、外国人家庭等、特に支援が必要な子育て家庭への支援を充実するとともに、児童虐待等の深刻な課題を抱える家庭を支援し、子どもの権利を守るための取り組みを進めます。



### 3 施策の体系



## 第4章 施策の展開

### 1 就学前教育・保育の充実

#### (1) 教育・保育提供区域の設定

- 市町村は、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、小学校区単位、中学校区単位、行政区単位等、地域の実情に応じて、保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域（以下「教育・保育提供区域」という。）を定める必要があるとされています。
- 西脇市では、市民の生活圏域、地理的な条件をふまえて、教育・保育事業の提供区域を、以下のように設定します。

分類	施設・事業名		区域
教育・保育	教育・保育施設	幼稚園、保育所、認定こども園	東・西地区 (2地区)
	地域型保育事業	小規模保育、家庭的保育、 居宅訪問型保育、事業所内保育	

※ 東・西地区（2地区）の区域は以下のとおりです。



## (2)教育・保育の一体的提供

- 認定こども園の設置数、設置時期その他認定こども園の普及に係る考え方(認定こども園を普及させる背景や必要性等)
- 質の高い幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援の役割及びその推進方策
- 幼児期の学校教育・保育と小学校教育(義務教育)との円滑な接続(保幼小連携)の取組の推進
- 保幼小連携、0～2歳に係る取組と3～5歳に係る取組の連携

子ども・子育て会議、教育・保育部会の議論を踏まえ、方向性を整理・検討します。

## (3)教育・保育の「量の見込み」と「確保の方策」

### ■ 認定区分と提供施設

認定区分		提供施設
1号	3－5歳：幼児期の学校教育(以下「学校教育」という)のみ	認定こども園、幼稚園
2号	3－5歳：保育の必要性あり	認定こども園、幼稚園、保育所
3号	0－2歳：保育の必要性あり	認定こども園、保育所、地域型保育事業

■ 各年度における、教育・保育の「量の見込み」及び「提供体制の確保内容」

《東地区》

西脇市<東地区>		平成 27 年度			平成 28 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有	1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		56 人	228 人	141 人	55 人	226 人	129 人
(他市町の子ども)		0 人	2 人	4 人	0 人	2 人	4 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 56 人	市内 224 人 他市町 4 人	市内 95 人 他市町 4 人	市内 55 人	市内 222 人 他市町 4 人	市内 100 人 他市町 4 人
	(他市町の子ども)	0 人	2 人	4 人	0 人	2 人	4 人
	地域型保育事業			0 人			0 人
②-①		0 人	0 人	△42 人	0 人	0 人	△25 人

西脇市<東地区>		平成 29 年度			平成 30 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有	1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		53 人	218 人	125 人	53 人	217 人	121 人
(他市町の子ども)		0 人	2 人	4 人	0 人	1 人	3 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 45 人	市内 185 人 他市町 4 人	市内 90 人 他市町 4 人	市内 45 人	市内 185 人 他市町 4 人	市内 90 人 他市町 4 人
	(他市町の子ども)	0 人	2 人	4 人	0 人	1 人	3 人
	地域型保育事業			0 人			0 人
②-①		△8 人	△29 人	△31 人	△8 人	△28 人	△27 人

西脇市<東地区>		平成 31 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		49 人	202 人	116 人
(他市町の子ども)		0 人	1 人	3 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 45 人	市内 185 人 他市町 4 人	市内 90 人 他市町 4 人
	(他市町の子ども)	0 人	1 人	3 人
	地域型保育事業			0 人
②-①		△4 人	△13 人	△22 人

《西地区》

西脇市<西地区>		平成 27 年度			平成 28 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有	1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		135 人	407 人	257 人	131 人	394 人	257 人
(他市町の子ども)		0 人	15 人	13 人	0 人	15 人	13 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 135 人	市内 393 他市町 14 人	市内 243 人 他市町 14 人	市内 131 人	市内 380 人 他市町 14 人	市内 243 人 他市町 14 人
	(他市町の子ども)	0 人	15 人	13 人	0 人	15 人	13 人
	地域型保育事業			0 人			0 人
②-①		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

西脇市<西地区>		平成 29 年度			平成 30 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有	1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		129 人	387 人	252 人	128 人	384 人	248 人
(他市町の子ども)		0 人	15 人	13 人	0 人	16 人	13 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 129 人	市内 373 人 他市町 14 人	市内 238 人 他市町 14 人	市内 128 人	市内 370 人 他市町 14 人	市内 235 人 他市町 13 人
	(他市町の子ども)	0 人	15 人	13 人	0 人	16 人	13 人
	地域型保育事業			0 人			0 人
②-①		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

西脇市<西地区>		平成 31 年度		
		1 号 3-5 歳 学校教育のみ	2 号 3-5 歳 保育の必要有	3 号 0-2 歳 保育の必要有
①量の見込み(必要利用定員総数)		127 人	383 人	243 人
(他市町の子ども)		0 人	16 人	13 人
②確保の内容	認定こども園・幼稚園 保育所 (教育・保育施設)	市内 127 人	市内 370 人 他市町 13 人	市内 230 人 他市町 13 人
	(他市町の子ども)	0 人	16 人	13 人
	地域型保育事業			0 人
②-①		0 人	0 人	0 人

他市町の子ども、他市町  
の施設の確保の方  
策については、現在、  
協議中。

## 2 地域子ども・子育て支援事業の充実

### (1) 地域子ども・子育て支援事業の提供区域の設定

- ・地域子ども・子育て支援事業の提供にあたっては、教育・保育事業同様、区域を設定する必要があります。
- ・西脇市では、市民の生活圏域、地理的な条件をふまえて、地域子ども・子育て支援事業の提供区域を、以下のように設定します。

分類	事業名	区域
地域子ども・子育て支援事業	放課後児童健全育成事業	東・西地区（2地区）
	延長保育事業	全市
	一時預かり事業	
	病児保育事業	
	子育て短期支援事業	
	地域子育て支援拠点事業	
	利用者支援に関する事業	
	乳児家庭全戸訪問事業	
	養育支援訪問事業	

※ 東・西地区（2地区）の区域は、「教育・保育提供区域」と同じです。

## (2)地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」

■各年度における、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」及び「提供体制の確保内容」

## 【放課後児童健全育成事業(低学年)】

西脇市<東地区>	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	150 人	144 人	141 人	135 人	126 人
② 確保の内容	114 人	108 人	107 人	98 人	90 人
②-①	△36 人	△36 人	△34 人	△37 人	△36 人

西脇市<西地区>	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	302 人	311 人	317 人	302 人	293 人
② 確保の内容	302 人	311 人	317 人	302 人	293 人
②-①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

## 【放課後児童健全育成事業(高学年)】

西脇市<東地区>	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	58 人	57 人	57 人	58 人	59 人
② 確保の内容	18 人	21 人	18 人	21 人	22 人
②-①	△40 人	△36 人	△39 人	△37 人	△37 人

西脇市<西地区>	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	91 人	88 人	99 人	98 人	91 人
② 確保の内容	37 人	26 人	24 人	31 人	47 人
②-①	△54 人	△62 人	△75 人	△67 人	△44 人

## ◎ 実施方針

- ・小学校低学年の放課後児童健全育成事業は、今まで通り8小学校、10 か所で実施します。高学年についても、利用ニーズがあり、受入れ態勢が整い次第実施していきます。

## 【延長保育事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	104 人	104 人	104 人	104 人	104 人
② 確保の内容	104 人	104 人	104 人	104 人	104 人
②-①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

## ◎ 実施方針

- ・保護者の就労状況等、各家庭の状況に合わせた支援ができるよう、現在、西脇保育所、どれみ保育園、日野保育園の 3 か所で、11 時間以上開所の延長保育事業を実施しています。

## 【一時預かり事業】

## ■ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)

西脇市		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	㊦1号認定による利用	973 人日	973 人日	681 人日	675 人日	658 人日
	㊦2号認定による利用	17,500 人日	17,000 人日	16,500 人日	16,500 人日	16,000 人日
② 確保の内容		18,473 人日	17,973 人日	0 人日	0 人日	0 人日
②-①		0 人	0 人	△17,181 人日	△17,175 人日	△16,658 人日

## ■ 幼稚園における在園児対象を除く一時預かり

西脇市		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み		625 人日	631 人日	636 人日	642 人日	648 人日
② 確保の内容		625 人日	631 人日	17,817 人日	17,817 人日	17,306 人日
②-①		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

## ◎ 実施方針

- ・現在、西脇保育所と日野保育園の 2 か所で実施しています。
- ・平成 29 年度以降、幼稚園での「預かり保育」、「一時預かり事業」は廃止する方向であるため、幼稚園以外(認定こども園やシルバー人材センターによる子育て支援サービス等)の一時預かりを利用することとなります。
- ・今後は、各施設の更なる協力が求められます。



## 【病児保育事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	170 人日	204 人日	245 人日	294 人日	353 人日
② 確保の内容	170 人日	204 人日	245 人日	294 人日	353 人日
②-①	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日

## ◎ 実施方針

- ・現在、西脇保育所で実施している病児保育を今後も継続します。
- ・今後は、市内医療機関等他施設への委託、協力を要請するなどの方法を検討します。

## 【子育て短期支援事業(ショートステイ)】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	23 人日	23 人日	23 人日	23 人日	23 人日
② 確保の内容	23 人日	23 人日	23 人日	23 人日	23 人日
②-①	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日

## ◎ 実施方針

- ・児童の養育が一時的に困難、またはDV等により緊急的、一時的に保護を必要とする場合等に、一定期間、養育または保護します。
- ・指定施設については、明石市など、市外〇か所の施設に委託しています。

## 【地域子育て支援拠点事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込	15,588 人日	15,144 人日	14,820 人日	14,508 人日	14,148 人日
② 確保の内容	15,588 人日	15,144 人日	14,820 人日	14,508 人日	14,148 人日
②-①	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日

## ◎ 実施方針

- ・3つの子育て学習センターや平成 27 年度新設予定の茜が丘複合施設(子育て支援施設)を中心に、地域の子育てを支援します。

## 【利用者支援に関する事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
② 確保の内容	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所

## ◎ 実施方針

・平成 27 年度 茜が丘複合施設内に「子育て支援施設」を設置予定です。市内の施設・事業等の相談に応じ、必要な情報提供を行える体制をつくります。

## 【乳児家庭全戸訪問事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	305 人	297 人	290 人	284 人	277 人
② 確保の内容	305 人	297 人	290 人	284 人	277 人

## ◎ 実施方針

・生後 4 か月になるまでの乳児がいるすべての家庭を訪問し、不安や悩み相談及び子育ての情報提供を行い、適切なサービスの提供に結びつけます。

## 【養育支援訪問事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	84 人	84 人	84 人	84 人	84 人
② 確保の内容	84 人	84 人	84 人	84 人	84 人

## ◎ 実施方針

・児童の養育について支援が必要な家庭に、過重な負担がかかる前の段階で、家庭児童相談員や保健師等の訪問による支援を実施し、安定した児童の養育を支援します。

## 【妊婦健診事業】

西脇市	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	535 人	521 人	508 人	498 人	486 人
② 確保の内容	535 人	521 人	508 人	498 人	486 人

## ◎ 実施方針

・実施は各医療機関となっています。

以下、施策体系に沿って、次世代の項目を引き継ぎながら記載をします。

(3) その他多様な保育サービスの充実

(4) 茜が丘複合施設の整備

### 3 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり

(1) 育児休業取得の推進

(2) ワーク・ライフ・バランスの推進

(3) 雇用・就労機会の拡充

### 4 子どもと親の健康を支える環境づくり

(1) 子どもや親の健康の確保

(2) 食育の推進

### 5 子どもが安心して育つ環境づくり

(1) 子どもの遊び場等の整備

(2) 子育てしやすい生活環境の整備

### 6 特別な援助が必要な子ども・家庭への支援

(1) 児童虐待の防止

(2) ひとり親家庭への支援

(3) 障害のある子どもを対象とした施策の推進

---

## 第5章 成果指標の設定

---

計画の実効性を確保するため、客観的に進行管理を行うことができる目標数値を設定します。

---

## 第6章 推進体制

---

関係主体の役割を明記するとともに、推進体制図を示し、各主体の取り組みを記載します。

---

## 参考資料

---

- ・策定経過
- ・ニーズ調査実施概要
- ・委員名簿
- ・子ども・子育て会議設置要綱
- ・用語解説 等